

全難言協夏季全国研修会
「はじめてのいっぽ2025」

構音基礎

東京都 立川市立第八小学校
きこえとことばの教室 大河内 裕子

1

本日の流れ

- 1、構音障害とは
- 2、構音障害の状態の把握
- 3、構音障害の指導

2

1、構音障害とは

- (1) 構音障害とは
- (2) 構音障害の分類
- (3) 誤り音の分類
- (4) 特異な構音操作の誤り

3

2、構音障害の状態の把握

- (1) 生育歴など情報収集
- (2) 構音器官の形態や運動機能
- (3) 鼻咽腔閉鎖機能
- (4) 聴覚的弁別力

4

3、構音障害の指導

(1)構音器官の運動機能の向上

(2)聴覚的認知力の向上

5

1、構音障害とは

6

(1)構音障害とは

「社会的,年齢的に当然構音可能と予想される状況において,その音の産生が不可能な状態」 (阿部 2008)

- ・構音(発音)の発達が、発達年齢に見合っていない
≠例:赤ちゃん「エベレーター」
- ・発語器官などには何も異常はなく、誤りが習慣化している場合が多い。

7

(2)構音障害の分類

- ①器質性構音障害 (きしつせいこうおんしょうがい)
→構音器官に形態的な異常があるために正しい構音を作ることができない
- ②運動障害性構音障害 (うんどうしょうがいせいこうおんしょうがい)
→神経系と筋そのものが何らかの病変に追って運動障害が起こり、その結果として生じるもの
- ③機能性構音障害 (きのうせいこうおんしょうがい)
→構音器官に明らかな器質的原因がないにも関わらず、構音に異常が生じるもの

8

①器質性構音障害

- ・口唇裂、口蓋裂
- ・先天性鼻咽腔閉鎖機能不全など

口唇裂、口蓋裂

生まれたときから、唇（口唇）や上あご（硬口蓋）、のどちんこ（軟口蓋）がつながっていない状態のことを言います。



不全唇裂

完全口唇口蓋裂

両側口唇口蓋裂

粘膜下口蓋裂

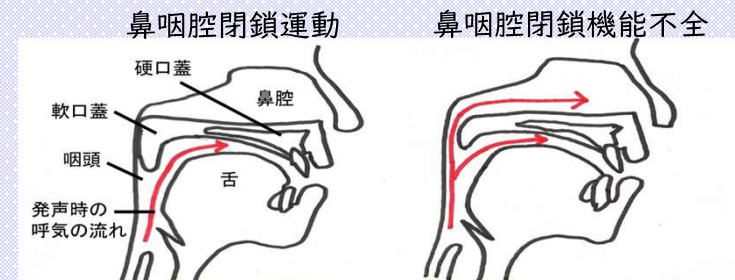
二分口蓋垂

(参考) 松下記念病院

9

先天性鼻咽腔閉鎖機能不全

鼻咽腔の閉鎖がうまくいかず、空気が鼻腔に漏れる。
口蓋裂、生まれつき口蓋が短い など。



10

②運動障害性構音障害

中枢神経から抹消にいたる神経系と筋そのものが
何らかの病変によって発声発話器官に運動障害が
起こり、その結果として生じるもの

例：脳性まひ、脳血管障害、脳腫瘍、外傷、進行性
疾患等

11

③機能的構音障害

→構音器官に明らかな器質的原因が認められないに
も関わらず、構音に障害を生じているものの総称。

- ・構音の発達途上で何らかの原因で正常構音が獲得
できなかったもの

12

(3) 誤り方の分類

☆置換(ちかん)

ある音が他の正常な日本語音に置きかわったもの

例) ミカン→ミタン (/mikan/→/mitan/)
あし → アチ (/aɕi/→/atɕi/]

13

☆省略(しょうりゃく)

子音が省略されて母音部分だけになったり、音節そのものが省略されたりする。

例) ミカン→ミアン (/mikan/→/mian/)
ボール→ボー (/bo:ru/→/bo:/)

14

☆歪(ひず)み

日本語の語音としては表記できない音に歪む

- ・弱音化: 構音操作が不十分で音が弱くなって歪む
- ・鼻音化: 鼻咽腔閉鎖機能不全により呼気が鼻腔に抜けて歪む
- ・特異な構音操作の誤り

15

(4) 特異な構音操作の誤り

①側音化構音(そくおんかこうおん)

- ・「構音位置が舌の後方の舌縁にあり、舌の前方が硬口蓋に接して口腔を閉鎖しているため、音声や呼気は歯列と頬部の間から出される音(阿部 2003)。
- ・舌が中央あるいは片方に寄る。
- ・下顎や口唇が横に引かれやすい。

●側音化構音になりやすい音

「イ列音」「拗音」「ケ」「ゲ」「サ・ザ行音」

16

②口蓋化構音(こうがいこうおん)

- ・本来、舌尖と歯や歯茎で作られる音の構音位置が後方に移動して、舌背と口蓋で作られる歪み音。
- ・「カ行音、ガ行音」に近い歪み音。口腔にこもる音。
- ・舌に力が入り「イモ舌」になる。

●口蓋化構音になりやすい音

「サ、ザ行音」「タ、ダ行音」「ナ行音」「ラ行音」
※「カ、ガ行音」への置換と判断ミスをしやすい。

17

③声門破裂音(せいもんはれつおん)

- ・声帯や仮声帯を強く接することで声門を閉鎖し、それを急激に開放することによってつくられる破裂音。
- ・軽い咳払いに似た独特な音として聴取される。

●声門破裂音になりやすい音

破裂音、破擦音、摩擦音。無声子音>有声子音
※「子音の省略」と判断ミスをしやすい。

18

○鼻咽腔構音(びいんくうこうおん)

- ・舌が口蓋に接することで口腔を閉鎖し、そのまま軟口蓋が咽頭後壁に近接することで音が作られ、気流は全て鼻腔から出される。
- ・聴覚的には「ン」「クン」に近い歪み音となる。鼻腔を閉鎖すると音そのものが作れなくなる。

●鼻咽腔構音になりやすい音

「イ列音」が最も多い。「ウ列音」「サ・ザ行音」
にも比較的多くあらわれる。
※「鼻漏れ」「開鼻声」と判断ミスをしやすい。

19

2、構音障害の状態の把握

20

(1)情報の把握

☆生育歴など、情報を収集しましょう。

食事について

- ・かたい食べ物はいつまでも噛んでいる。噛まずに飲み込む。
かたいもの、繊維質のものは嫌い。
- ・よく食べこぼす。くちゃくちゃ音を立てて食べる。
- ・麺類がすすれない。麺類を食べたら鼻から出てきた。
- ・飲み物をごくごく飲む（コップで飲む、ストローで飲む、鼻から出る）
- ・よだれをよくすすっている。

21

言語環境について

- ・自分の発音を気にしているか。
- ・家庭や学校(園)の言語環境はどうか。
→お友達にからかわれていないか？家庭で言い直しをさせていないか？ など

◎インテークで書いてきていただいた生育歴票をもとに、面談で詳細を聞き取ります。

22

例えば・・・

肉類は、塊肉はもちろんスライス肉も食べたがらなかったで、ミートボールやハンバーグしか肉類は食べたことはありません。カレーはいつも挽肉で作っています。

イカフライは、小学校の給食で生まれて初めて食べました。

しゃべっていると、いつもよだれが口元についています。

大きいままで出すと、もっと小さく切ってほしいと、子供が言ってきます。なので、食パンは、8等分に切り分けて食べさせています。みみは食べたことはありません。

リンゴはいつもスライスしたものを食べさせています。

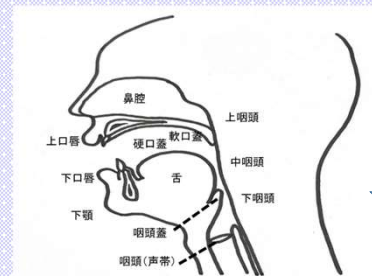
間違ったときは、『ス』だよ。言ってみてごらん』と、言い直しをさせています。



23

(2)構音器官の形態や運動機能

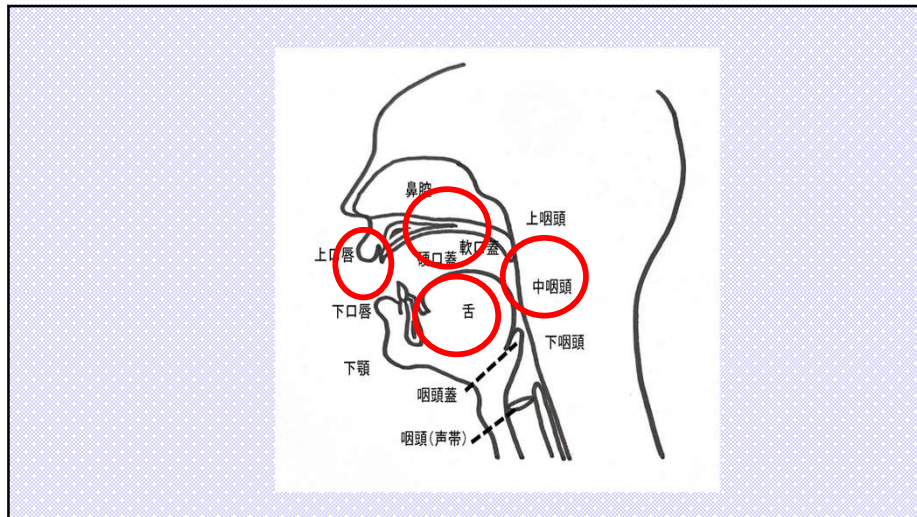
構音：構音器官の通路の形を変えたり、途中で狭めや閉鎖を作ったりして、出された音声にさまざまな変化を与えてそれぞれ独自の言語音にすること



母音：舌の形や位置を変えることで、共鳴腔を変化させて作る。

子音：口唇や舌などによって、口腔の一部を閉鎖して解放、狭めたところに気流を通過させるなどしてつくる。その後、後続母音を作って音節にする。

24



25

構音検査 シート4 「構音類似運動検査」

- ・ 構音器官や音ごとに口や舌をどのように動かすことができたか確認できる。
- ・ 主課題、下位課題から構成。
- ・ 動作模倣が基本。

26

発語器官の形態・機能検査

発語器官の形態・機能検査			
問	答	検査項目	検査結果
1	口唇の形態	1. 口唇の厚さ	1. 口唇の厚さ
2	口唇の動き	2. 口唇の動き	2. 口唇の動き
3	口唇の位置	3. 口唇の位置	3. 口唇の位置
4	口唇の形状	4. 口唇の形状	4. 口唇の形状
5	口唇の長さ	5. 口唇の長さ	5. 口唇の長さ
6	口唇の幅	6. 口唇の幅	6. 口唇の幅
7	口唇の色	7. 口唇の色	7. 口唇の色
8	口唇の温度	8. 口唇の温度	8. 口唇の温度
9	口唇の湿度	9. 口唇の湿度	9. 口唇の湿度
10	口唇の弾力性	10. 口唇の弾力性	10. 口唇の弾力性
11	口唇の柔軟性	11. 口唇の柔軟性	11. 口唇の柔軟性
12	口唇の硬さ	12. 口唇の硬さ	12. 口唇の硬さ
13	口唇の滑らかさ	13. 口唇の滑らかさ	13. 口唇の滑らかさ
14	口唇の乾燥度	14. 口唇の乾燥度	14. 口唇の乾燥度
15	口唇の赤み	15. 口唇の赤み	15. 口唇の赤み
16	口唇の腫れ	16. 口唇の腫れ	16. 口唇の腫れ
17	口唇の皸裂	17. 口唇の皸裂	17. 口唇の皸裂
18	口唇の出血	18. 口唇の出血	18. 口唇の出血
19	口唇の発赤	19. 口唇の発赤	19. 口唇の発赤
20	口唇の発白	20. 口唇の発白	20. 口唇の発白
21	口唇の発青	21. 口唇の発青	21. 口唇の発青
22	口唇の発紫	22. 口唇の発紫	22. 口唇の発紫
23	口唇の発黄	23. 口唇の発黄	23. 口唇の発黄
24	口唇の発黒	24. 口唇の発黒	24. 口唇の発黒
25	口唇の発白	25. 口唇の発白	25. 口唇の発白
26	口唇の発青	26. 口唇の発青	26. 口唇の発青
27	口唇の発紫	27. 口唇の発紫	27. 口唇の発紫
28	口唇の発黄	28. 口唇の発黄	28. 口唇の発黄
29	口唇の発黒	29. 口唇の発黒	29. 口唇の発黒
30	口唇の発白	30. 口唇の発白	30. 口唇の発白

※今日は立川市で使っているものを参考にして説明します

- 唇： 3項目
- 舌： 12項目
- 口蓋・咽頭： 4項目
- 顎： 1項目
- 構音： 5項目
- CSS： 4項目
- 声： 3項目

27

唇

①形態の異常（視診）

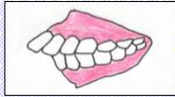
- ・ 変形、左右差、歯列、咬合異常、瘻孔、口蓋の深さ、裂、口蓋垂の二分など

②唇をとがらす、引く・・・ 10回/10秒

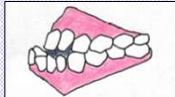
③唇を開く、閉じる・・・ 10回/10秒

28

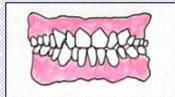
咬合異常



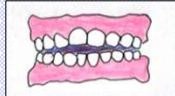
上顎前突（出っ歯）
上の前歯が下の歯よりも前に出ている。



下顎前突（受け口）
下の歯が上の前歯よりも前に出ている。

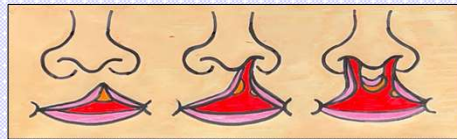


叢生（そうせい）
歯並びがガタガタしている。八重歯も叢生。



開咬（かいこう）
奥歯でかみ合わせたときに、前歯が開いたままになる。

口唇裂・口蓋裂



不全唇裂 完全口唇口蓋裂 両側口唇口蓋裂

粘膜下口蓋裂

二分口蓋垂

29

舌

- ①形態の異常
- ②舌を前に出す
- ③～⑤舌で上下口唇、両口角をなめる
- ⑥舌尖で上の歯茎に触れる
- ⑦舌をとがらす
- ⑧舌をまるめる
- ⑨舌尖を上口唇と歯茎の間に入れる
- ⑩舌尖で頬を押す
- ⑪舌を出したり引っ込めたりする・・・10回/10秒
- ⑫舌を左右に動かす・・・10回/10秒

30

舌小帯短縮

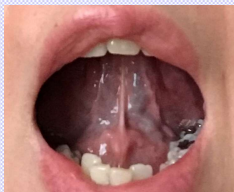
舌小帯短縮症



ハート型の舌



舌小帯短縮症ではない舌小帯



ハート型の舌にならない



31

口蓋・咽頭【(3)鼻咽腔閉鎖機能】

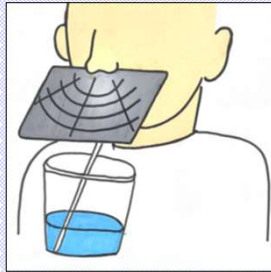
- ①形態の異常
 - ・軟口蓋：安静時の長さ・咽頭口蓋間距離
 - ：「あー」と言った時の軟口蓋の動き、咽頭口蓋間距離、咽頭側壁の動き、左右差などの様子
 - ・がらがらうがいができるか
- ②ストローで水を飲む
- ③ストローで吹く（鼻つまみなし、あり）
→ブローイング検査
- ④マッチの炎を吹き消す

32

ブローイング検査

ソフトブローイング検査（そっと息を吹く）

→ストローでコップの水を「ブクブク」と軽く泡立つ
くらいの勢いで吹く。呼気鼻漏出の有無を観察。



※鼻息鏡を用意します

33

ブローイング検査

ハードブローイング検査（強く息を吹く）

→ふきもどしなど ※鼻息鏡を用意します



34

ブローイング検査の注意点

- ・検査前に、鼻をかませる
- ・あくまでも「息を吹く」という動作のときに、呼気鼻漏出があるかどうかをみるもの
- ・口蓋裂で口腔内に瘻孔がある場合や、顎裂部が閉鎖されていない場合は、その部分からの呼気鼻漏出か鼻咽腔閉鎖機能不全によるものの判定は慎重にしなければならない

35

顎

- ①口を開いたり閉じたりする・・・10回/10秒

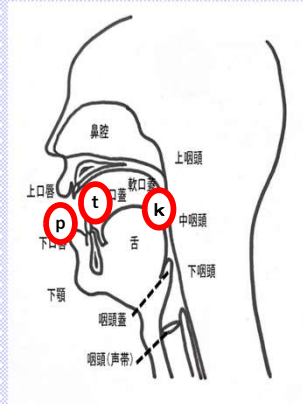
36

構音

- ①[ア]を持続して言う 10秒
 ②[パ]を連続して早く言う } 15回/5秒
 ③[タ]を連続して早く言う }
 ④[カ]を連続して早く言う }
 ⑤[パタカ]を連続して早く言う 5回/5秒

なんで[パ][タ][カ]？

[パ]: 口唇
 [タ]: 舌先
 [カ]: 奥舌



37

- C (chewing 噛むこと)
 S (sucking 吸うこと)
 S (swallowing 飲み込むこと)

- ①コップで水を飲む
 ②チューイングガムを食べる
 ③固形物を食べる
 ④その他

38

声

- ①開鼻声: 口蓋裂、軟口蓋運動障害などにより、構音時に空気の流れが鼻腔に漏れてしまい、鼻腔共鳴が強すぎるため、正常な発音ができない状態。鼻咽腔閉鎖不全もあります。
- ②閉鼻声: 鼻腔に出るべき呼気が阻害され、鼻の中で共鳴してしまう状態。
- ③嗄 声: 声がかれた状態のこと。ハスキーボイス

39

発語器官の形態・機能検査

検査項目	結果	備考
① 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
② 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
③ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
④ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑤ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑥ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑦ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑧ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑨ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑩ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑪ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑫ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑬ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑭ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑮ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑯ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑰ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑱ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑲ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
⑳ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉑ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉒ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉓ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉔ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉕ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉖ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉗ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉘ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉙ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉚ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉛ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉜ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉝ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉞ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㉟ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊱ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊲ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊳ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊴ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊵ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊶ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊷ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊸ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊹ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊺ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊻ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊼ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊽ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊾ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	
㊿ 唇の閉鎖	1.0秒/1.0秒	

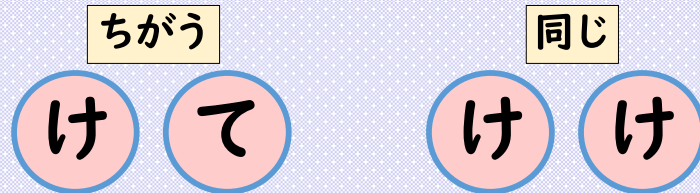
40

(4) 聴覚的弁別力

誤り音と正しい音との聞き分けが正しくできる。

① 音の異同弁別

→ 正誤組み合わせた音が同じかどうかを判断する。



41

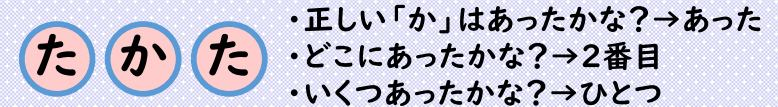
(4) 聴覚的弁別力

② 音の正否弁別

→ 提示された音の正否を判断する。

③ 音の検出、同定

→ 正しい音があったか。それはどこにあったか、いくつあったかを判断する。



42

3、構音障害の指導

43

(1) 構音器官の運動機能の向上

☆ 子供が楽しく取り組める練習内容を！！☆
★ 教材を工夫して練習を楽しく！！★

44

☆お口のたいそう☆

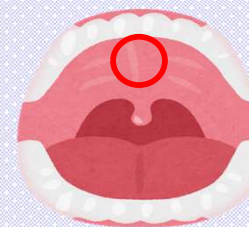
- ・通級のときに練習して、お家での宿題に出すこともあります。
- ・先生も一緒にやってみせます。横に並んで鏡を一緒に見られるといいです。上手なときは「いいね!」と、すぐにほめましょう。
- ・不必要な力が入らないように。(目は見開いていないか? 足や手に力が入っていないか?)



45

☆ポッピング☆

- ①スポット(上の前歯の後ろのプクツとしたふくらみのすぐ後ろ)に舌の先をつけ、舌全体をうわあごに吸い上げる。
- ②口を大きく開けて舌小帯を出来るだけ伸ばし、舌打ちをする。



46

☆べろと くちの たいそうすごろく

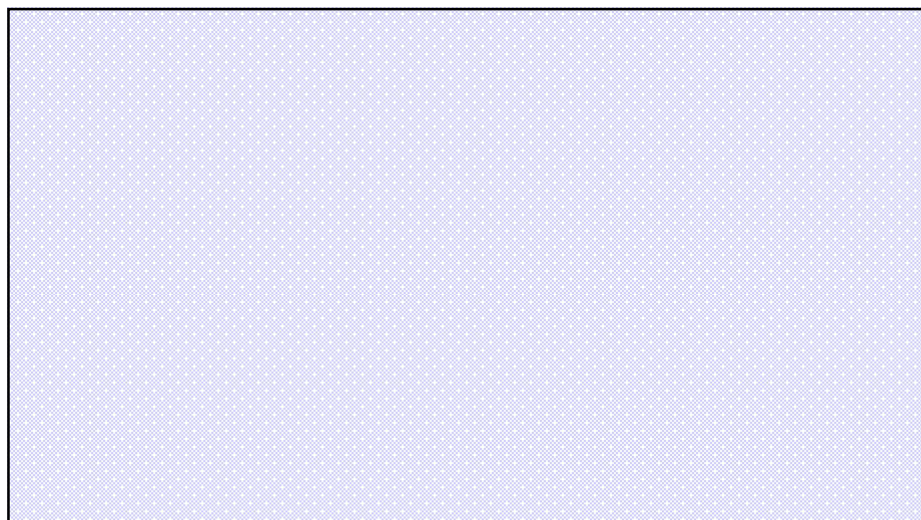


47

☆使えるお菓子☆

- ・細長い棒状のお菓子
- ・海の生物型のお菓子
- ・チョコレートソース
- ・笛型のラムネ
- ・お祭りのせんべい
- ・風船ガム
- ・たまごボーロ

48



49

○他には、こんなことも。



シャボン玉

- ・そーっとふいて、大きいのを作る。
- ・強くしていった小さいのを作る。
- ・長く吹いてたくさんたくさん作る。
- ・自分で好きな大きさのものを好きなだけ作る。

ろうそく消し

- ・まずは1本から。だんだん遠くに置いたり、数を増やしたり、一気に消したり・・・



50

ふうふうサッカー

ダンボールでサッカー板を作って、ピンポンだまをボールにして息を吹きかけてサッカーをしました。息で動かすので、頭を近づけすぎないようにします。ホールインワンゲーム（穴に球を落とす）も面白いと思います。



種とばし

・これは、同じ教室で働いていた先輩が子供とやっていました。その先生は、料理で使ったかぼちゃの種をきれいに洗ったものをたくさんいつも持っていました。やってみたら、意外と難しかったです



51

☆いろいろ組み合わせて、楽しく練習しましょう

練習では、遊具を活用しても楽しいです。ルールはお子さんの実態に合わせて考えてみましょう。



(参考) 言友会



(参考) ハバ社



- すごろく
- ブロック取り
- 棒取り
- シールはり

- ・順番こでできる。
- ・何か、ゲットしながら。練習した回数、上手に言えた回数・・・

52

☆応用編☆



キャラクターマスに、キャラクターチップを置いて、練習したらゲット!

チップを全種類集めたら、ゴールできる!

サイコロの目の数だけ練習する

など

53

☆舌の脱力☆

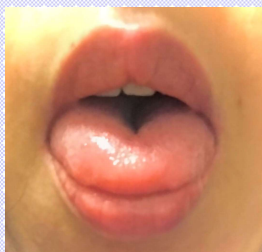
側音化構音や、口蓋化構音を改善するため、絶対に欠かせないのは、「舌の脱力」です。

舌の不自然な力を取り除き、力の抜けた平らな舌を作ります。

力を抜けばいいのだから、舌の運動はいらないのでは?

54

舌の動きをコントロールできてこそその「脱力」です!



①体全体、口元や喉のあたりの力を抜く。

②舌を下口唇に乘せる形で前方に出す。

③舌の力を意識的に抜き、両口角につくように開いた状態を作らせる

◎舌の奥まで力が抜けて平らになっているか?

◎「ホットケーキの舌を作ろう」など、正しい形を想像しやすい声かけを

◎先生も一緒にやってみましょう。

55

(2)聴覚的認知力の向上

☆音の聞き分け☆

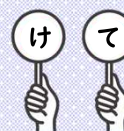


・○×カード →いろいろ使えます。

例:2つの音が同じだったら○、違ったら×を出す。

:先生が「け」っていったら○を出してね。

「け」…○ 「て」…×



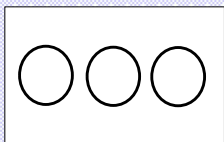
・練習音を書いたカード

→丸い白紙ににラミネートしたもので作っておくとホワイトボードマーカーで書けるので使いまわせる。言い分け練習にも使える。

56

☆音の聞き分け☆

- ・○を描いた紙。もしくはペットボトルキャップを並べて貼ったものなど。数字を書いておいても良いかもしれません。



例:「先生が『か』っていったところにボールを置いて教えてね。」「『た』『た』『か』」

:「先生が『か』って言ったのは何番かな。
『か』『た』『た』『たん!』

★宿題を出しましょう★

◎お家で練習できそうであれば、お口の体操や、お菓子の練習を宿題にすると良いでしょう。

◎楽しくできる内容を、楽しくできる量で毎日コツコツ行なうことが大切です。練習が楽しいコミュニケーションの場にできるいいですね。親子げんかになったり「練習がイヤ!」となったりしないようにしましょう。

◎練習が出来ない日があっても大丈夫。親子で楽しく取り組めるよう、先生がフォローしていきましょう。

お家でできること

☆お家で無理なくできることを、やってみてください！☆
 <簡単>

・おさがなソーセージ(普通のソーセージも)や練り物など、あまり固くないけれど噛まないと食べられないものよく噛んで食べる(固いものだったら入なくて大丈夫です)。

・ 弾けるもの、粘り気のあるものをよく噛んでこぼさず食べる。

※お行儀は良くないのですが、ブリッツを手を使わずに食べるのは、練習だと思ってやっ

ていただけたらと思います（ことはの教室でもやっている練習です）。基めとるのは、
筋力がなければやっていただけたらと思います。

※ガムについては、これまでにおやつとして食べたことがあれば使ってみてください(歯のケア等で食べさせていない場合は、やらなくても大丈夫です)。

- ・うどんやそば、ラーメンをすすって食べる。
- ・熱いものを、フーフーと吹いて冷ます。

- ・ソフトクリームや棒付きの飴を揺る。
- ・ストロウで飲んだり、棒でゴクゴクと飲んだりする。

2012年12月15日

・楽しくお喋りできることが大切です。発音などを注意してお喋りに消極的にならないようにしていただけたらと思います。

・発音で気になることがあっても言い直し等はさせないでいただけたらありがたいです。ちゃんと意図として、正しくない発音の癖がついてしまうこともありますので、例えば

・体全体の動きを良くすることから始め、公園で親友目に見えるほど体を大きく動かす。正

り、ペットボトルのキャップ(タシびんなど、小さいキャップもとても良い)などをくるくる回して開閉する、ボタンを押めるなど、細かい動きをしたりすることも良いです。

無理なく(大人も子供も)毎日、楽しく練習できたらと思います。正しい音作りには、筋力をつけていくことが基礎として大切ですので、ご協力を宜しくお願いいたします。

食事の工夫

○食材

- ・かたい物、野菜などの繊維質、練り物など、噛む機会を増やせる食材や、メニューを取り入れる。

○調理法、食べさせ方

- ・小さく切っていたものを少しずつ大きくする。
- ・ソフトクリームを舐めとる。

☆お子さんだけにやらせるのではなく、お家の人も「おいしいね」とコミュニケーションをとりながら一緒に出来ると良い。

☆まとめ☆

・正しい音作りのためには、発語器官機能の動きを良くすることも大切。異常構音(側音化構音、口蓋化構音)の改善に必要な「舌の脱力」も「舌を脱力する」という舌のコントロールが必要。なので、運動機能を高めておくことが大切。

・在籍学級や保護者と協力し、言語環境や練習環境を整えましょう。
毎日お子さんが楽しくお喋りできるな、安心して過ごせる環境作り、
「ここが良くできているね」「食べられるようになったね」と、出来た
ところのフィードバックをたくさんするなど、在籍学級や保護者と指
導についての共通理解を深めましょう。

参考文献

- ・構音訓練のためのドリルブック 岡崎恵子 船山美奈子編著
- ・構音障害の指導技法ー音の出し方とそのプログラムー
涌井 豊 著
- ・構音障害の臨床 ー基礎知識と実践マニュアルー 阿部 雅子 著
- ・わかりやすい側音化構音と口蓋化構音の評価と指導法
山下タ香里 武井良子 佐藤亜紀子 山田紘子 編著

61

参考文献

- ・新版 口腔筋機能療法 MFTの実際 上下巻
高橋 治、高橋 未哉子著
- ・口蓋裂の構音障害 (Audio CD)
企画・監修: 日本音声言語医学会

62

ご清聴ありがとうございました



立川市公認キャラクター
くるりん



立川市立第八小学校
開校120周年キャラクター
けやっきー



立川市公認
なり損ねキャラクター
ウドラ

63